

# 『図解 不動産リースのしくみ』

## お詫びと訂正

2024年12月19日  
(株)中央経済社

本書におきまして、下記の誤りがございました。読者の皆様には謹んでお詫び申し上げますとともに、下表のとおり訂正いたします。

版次・刷数	該当箇所	誤	正
第1版 第1刷	p.101 図表47・3 1行目左から2列目	4	1
	p.114 下段2～3行目	具体的には、面積が減る場合が該当します。 それ以外の変更（賃料や契約期間の変更）は③です。	面積が減る場合、 <b>契約期間が短縮する</b> 場合が該当します。 それ以外の変更（賃料変更や契約期間の <b>延長</b> ）は③です。
	p.115 図表54・3 2行目最右列	面積の減少	面積の減少 <b>期間の短縮</b>
	p.115 図表54・3 3行目最右列	期間変更	期間の <b>延長</b>
	p.116 下段8行目	それ以外	その他
	p.149 図表70・3 3行目最左列	2	3
	p.152 上段1行目	リース範囲の縮小には該当しません。	リース範囲の縮小 <b>およびその他の契約条件の変更</b> に該当します。
	p.152 上段8行目	契約期間の短縮はリース範囲の縮小には該当しないため、リース負債の金額を修正します。	契約期間の短縮はリース範囲の縮小 <b>および割引率の変更</b> に該当するため、 <b>既存リースの一部解約</b> およびリース負債の金額を修正します。
	p.152 下段1～6行目	契約変更時から…（中略）…減額する必要があります。 までを右のように修正。	<b>まず、リース範囲の縮小としてリースの一部解約（1年短縮）の会計処理を行います。図表69・3からリース負債の減少額は16,339千円－11,156千円＝5,183千円、使用権資産の減少額は5,195千円、差額12千円が損益です。</b>

<p>p.152 下段1～6行目 (続き)</p>		<p>次に、契約変更時から2年間の賃料を割引率6%で割り引いてリース負債を計算すると、11,000千円です。割引率の変更によってリース負債を156千円(11,156千円－11,000千円)減額します。使用権資産はリース負債の修正額と同額を修正します(図表72・4)。</p>												
<p>p.152 下段最終段落</p>	<p>このように、契約期間の短縮はその他の契約変更として、変更後の契約条件で再計算したリース負債と変更前のリース負債の差額を修正します。</p>	<p>このように、契約期間の短縮はリース範囲の縮小によるリースの一部解約、変更後の契約条件で再計算したリース負債とリース範囲の縮小による修正後リース負債の差額を修正します。</p>												
<p>p.153 図表72・4</p>	<p><b>【訂正後】</b> 図表72・4 契約変更時の会計処理</p> <table border="1" data-bbox="576 909 1437 1055"> <tr> <td>(借)リース負債*1</td> <td>5,183千円</td> <td>(貸)使用権資産*2</td> <td>5,195千円</td> </tr> <tr> <td>損失*3</td> <td>12千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(借)リース負債*4</td> <td>156千円</td> <td>(貸)使用権資産*5</td> <td>156千円</td> </tr> </table> <p>*1：リース負債の減少額＝16,339千円－11,156千円＝<u>5,183千円</u>  *2：使用権資産の減少額＝<u>5,195千円</u>  *3：損失＝5,195千円－5,183千円＝<u>12千円</u>  *4：リース負債の減少額＝11,156千円－11,000千円＝<u>156千円</u>  *5：使用権資産の減少額＝リース負債の減少額と同額</p>		(借)リース負債*1	5,183千円	(貸)使用権資産*2	5,195千円	損失*3	12千円			(借)リース負債*4	156千円	(貸)使用権資産*5	156千円
(借)リース負債*1	5,183千円	(貸)使用権資産*2	5,195千円											
損失*3	12千円													
(借)リース負債*4	156千円	(貸)使用権資産*5	156千円											
<p>p.160 下段左から2行目</p>	<p>オフバランス</p>	<p>オンバランス</p>												